

長浜小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			No.1				No.2				No.3				
月 日 時 刻			5月24日		14時30分		6月7日		14時30分		6月21日		14時30分		
天 気			晴れ				晴れ				晴れ				
水 温 (°C)			20.5 °C				21.5 °C				23.0 °C				
気 温 (°C)			27.0 °C				25.0 °C				29.0 °C				
川 幅 (m)			5.1 m				5.1 m				5.1 m				
河 川 名			十一川				十一川				十一川				
生 物 を 採 取 し た 場 所			全面				全面				全面				
水 深 (cm)			15.0 cm				15.0 cm				8.0 cm				
流 速 (cm / s)			14.0 cm/s				14.0 cm/s				22.0 cm/s				
水 の よ う す		指標生物													
I きれい	1	カワゲラ類													
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツトビケラ類	○				○				○				
	3	ヒラタゲロウ類													
	4	ブユ類													
	5	ヘビトンボ類													
	6	ガガンボ類													
	7	サワガニ	○												
I・II 共通	8	ウスムシ類					○				○				
	9	2以外のトビケラ類	●				●				●				
	10	3、14以外のカゲロウ類													
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類													
	12	ジミミ類									○				
II・III 共通	13	カワニナ	●				●				●				
III よごれている	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類									○				
	16	ミスムシ	○				○				●				
	17	モノアラガイ													
III・IV 共通	18	サカマキガイ													
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミミズ類													
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	3	2	2		3	3	2		3	4	3		
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1	2	1		1	2	1		1	2	2		
	合 計 (1欄+2欄)		4	4	3		4	5	3		4	6	5		
	判定結果(合計が最も大きい区分)		I・II				II				II				

長浜小学校からの報告

本校では、みずすまし探検隊の活動を異学年交流であるクラブ活動の時間に実施しています。春に水生生物に興味がある子どもたちを募って、探検隊を結成します。子どもたちは生き物が好きで、川に入って生き物をとるのはもちろん、その名前や特徴などもよく理解し、楽しみながら活動を行うことができました。そんな子どもたちの活動について、ご紹介します。

1、水生生物ってどんな生き物？

初めてクラブ活動をするようになった5月、集まった子どもたちにまずは水生生物とはどんな生き物なのかを一緒に見ていくことにしました。子どもたちと一緒に、配付されている下敷きを見たり、冊子を読んだりして、生き物の特徴や生息する場所の予想、さらにどのように捕獲するのか、網の使いかた、安全についてなど、次回探検に行くのに必要な知識や技術を一緒に確認して行きました。子どもたちのわくわく感大きく、「早く行きたい！」「持ち物、もう一回確認して！」など、うれしそうな様子を見て取ることができました。

2、川の様子を観察すると

毎回の水生生物調査は、天候にも恵まれ、安全に実施することができました。楽しみにしていた子どもたちは、家から持ってきた靴や水槽を得意げに持ちうれしそうに集合しました。早速、何年も本校で調査を行ってきた十一川へ探検に出かけました。

十一川は、長浜市田附町から流れる、琵琶湖に注ぐ一級河川です。子どもたちの通学路に流れている川で、いつも目にしている子もいます。以前に大雨が降ったときには、こぞって子どもたちが「十一川があふれそう！」と大騒ぎをするほど、身近な川です。その川でよく魚とりをしている子を見かけます。

そんな十一川を、まずは上から見下ろしてみることにしました。上から見たら、川の流れはとても穏やかで、太陽の光がきらきらと輝いていました。その様子を見た子どもたちに「川の様子はどうですか。きれいかな？汚れているかな？」と尋ねると、透き通っているきれいな水の流れを見て、

「きれいだと思う。」「下がよく見えているからきれい！」という声が返ってきました。上から見たり、眺めていたりする様子からは、どうやらきれいに見えるようでした。そこでいよいよ川の近くまで行って眺めてみました。すると、遠くでは見えなかった細かいゴミや汚れが見えてきました。

「あれ？汚いかも・・・」「でも水は透き通ってるからきれいなんかな？」という声が聞こえてきました。見ているだけでは分からない様子を、水生生物を観察することによってわかるようにするとい



う目的を確認し、いよいよ調査を開始しました。

3、毎年変わる川の様子

調査を始めると、子どもたちから様々な声がありました。「結構水が冷たい!」「ここ、結構深いな・・・」「これ、中に何か居るかな?」など、楽しそうに調査を進めていきました。いろいろな生物が見つかり、網をあげるごとに必ず一匹は居ると言うくらい、たくさんの生き物がすんでいる川だということがわかりました。

最初は捕まえた生き物をおそろおそろ触っているようでした。一回目の探検では、「友だちがとってくれて助かった。」と言うことを話していた子がいました。しかし、慣れてくるとだんだん自分で捕まえた生物に触れるようになる子が増えてきて、ますます意欲的な様子が見られました。

指標生物でないヤゴもたくさん見つかりました。その中で一番多かったのは「カワニナ」でした。この十一川では、夏になると数匹の蛍がふわふわときれいな様子を見ることができます。カワニナは蛍の幼虫のえさとなることが多く、この川で蛍が見つかるのは、えさとなるカワニナが多く居るからなのかという予想をする子もいました。

また、毎年連続で水生生物クラブに所属していた子が、「そういえば、3年の時にはサワガニがいっぱいいたのに、今年は全然見ないな。」ということと話していました。三年間で川の様子が変わってきているということに気がついていました。しかし今年度は、最初の探検でサワガニを3匹見かけることができ、もしかしたら川の様子がまた変わってきているのかもしれないと感じました。その他にもトビケラ類がよく見られました。その形状は少し子どもには抵抗があるようでしたが、慣れてくると手のひらにのせ、しっぽの形や足などを詳しく観察しようとしている子もいました。さらに、子どもたちがドンコと呼んでいる魚もたく



さん見つかり、教室へ連れて帰って大事に飼っているクラスもありました。アユやアブラボテなども見つかり、川にはまだまだ見つからない生き物が居るのかもしれないと子どもたちがつぶやいていました。夏とは少し違って、魚がたくさん見つかり、さらに調査を始めてからこれまで一度も見つかることがなかったザリガニも見つかりました。川の様子は、年ごとではなく、季節でも大きく異なることを子どもたちが学ぶ機会となりました。

4. えきまちテラス長浜を探検

11月になると水生生物調査ができなくなりました。気温が下がるに伴い、水温も下がっているため、子どもたちの安全を第一に、10月で十一川での調査を終えることにしました。そこで、11月8日(月)のクラブ活動では、長浜駅のえきまちテラス長浜の一階にある「オサカナラボ」に行きました。ここは、小さな水族館と呼ばれ、琵琶湖にすむ魚だけでなく、様々な水の生物を展示されています。メダカ、フナ、ドジョウ、ヨシノボリなどたくさんの魚たちが展示されています。様々な大きさの水槽があり、ガラス槽で間近から観察することができました。また、オサカナラボの方に案内をしていただき、子どもたちはお話を聴いたり、質問したりして、水の生物に関する知識を深めることができました。子どもたちは、興味津々にたくさんの水槽の中の生き物を観察し、とても喜んでいる様子でした。これまでのクラブ活動での十一川の調査で観察することができた生き物以外にも、琵琶湖や他の川に生息する生き物にも、目を向けることができるきっかけになりました。



5. 最後に

普段生活をする中で、目にしてきた十一川を、水生生物調査することで、この川の本質に気づくことができました。これから身の周りの生き物だけでなく、地域の川を守っていくためには、何が必要で、何ができるのかと考えることにつながりました。生き物を調べることによってわかることを知り、あらためて環境に気をつけて過ごすこと、そして、生き物が生きる場所を大切にしていけることが大切だと気がつくことができました。